

ボードビル（ヴォードヴィル）とは、1920年代初頭から欧米で大流行したショービジネス。
歌、踊り、手品、漫才、そして軽演劇の五目に彩られたバラエティーショー。

チャーリーチャップリン、バスターキートン、日本では榎本健一（通称エノケン）

などのボードビルスターが誕生し、街のミュージックホールから銀幕の世界まで一世を風靡しました。

エノケンは浅草六区を中心に活躍し、当時のアメリカの流行歌（スイングジャズ）を積極的にショーに取り入れ、洒落た日本語詞で歌い踊りました。第一次世界大戦の好景気と、新しい異国の文化の勢いによって後押しされ、大流行したボードビルでしたが、歌は世につれ世は歌につれ、大恐慌と戦争、さまざまな時代の渦、映画産業やテレビの発展にのみ込まれ、ボードビルはいつしか飽きられ、廃れていきます。

2017年。世界は彼を待っていた。

昔は良かったねなんてもう言わせない。

時代は変わってもボードビリアンの魂と芸は口伝えで残っておりました。

BARONが歌うスイング、弾き鳴らすウクレレ、タップダンス、パントマイム、コメディ、
現代に蘇る新しいネオボードビルショー。

さ、劇場へ。

しかとお見届けください。

BARON・バロン

ヴォードヴィリアン、シンガーソングライター

ウクレレにダービーハット、タップシューズに湯たんぼドラム、

東京を中心に全国各地ときには海外でも活動中のヴォードヴィリアン。

ヴォードヴィル（ボードビル）の本来の意味はフランス語で *voix de ville* / 町の声。

1900年代初頭から欧米で始まり日本でも大流行した風刺歌付き演芸ショー芸人たちの魂を受け継ぎ、
ルーツミュージックの調べにのせて現在（いま）を唄い弾き踊る。

こどもちゃれんじDVDに多数出演。

2014年夏カナダ・モントリオール「Voix de Ville」（優勝）、

2015年6月カナダ・モントリオール フリンジフェスティバル 最優秀振り付け賞ノミネート。

バロンと世界一周楽団、Baron&Jordon、Casino Folliesでも活動中。

ボーイズバラエティー協会所属

